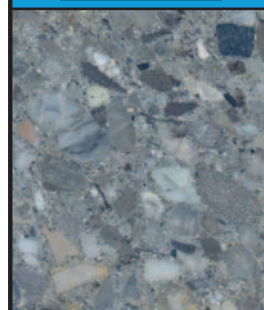


せき がん たい積岩



●れき岩



表 面：小石や砂が集まってできており、小石の間を砂つぶや泥などがうめて
います。色は、全体的に暗い灰色が多いです。

形：ゴツゴツとしたいびつなものが多くあります。小石のつぶが小さいも
のは丸みのある石となります。

でき方：大きさ2mm以上の小石などが集まってできた岩石です。

天竜川での分布：南アルプス、気田川、水窪川、遠山川などに分布します。



●さ がん 砂岩



表 面：灰色～暗い灰色で、風化するとオレンジ色に変わります。よく見ると
砂のつぶがわかり、ザラザラとしています。黒色の小さな石のかけら
が入ったり、砂のつぶが並んでしま模様になっていることもあります。

形：角のとれた箱形から丸い形です。

でき方：大きさ0.06mm～2mmの砂つぶが固まってできた岩石です。

天竜川での分布：南アルプス。気田川、水窪川、遠山川などに分布します。



●でい がん 泥岩

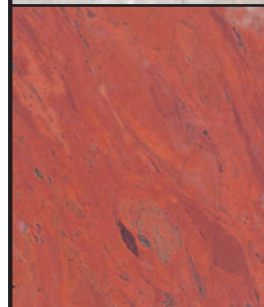


表 面：灰色～黒色で、よく見ても石をつくるつぶは見えません。クギなどで
こすると、簡単にキズがつきます。

形：平たいだ円形のことが多いです。

でき方：大きさ0.06mmより小さい泥が固まってできた岩石です。

天竜川での分布：南アルプス。気田川、水窪川、遠山川などに分布します。



●チャート

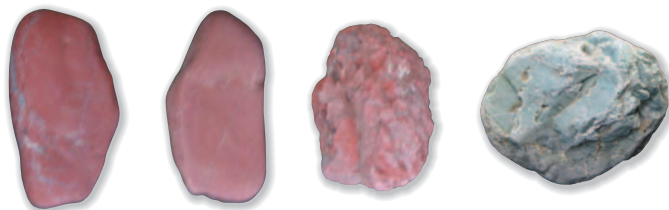


表 面：白・灰・黒・赤・緑などさまざまな色があります。半透明でとても固く、
クギなどでこすってもキズつきません。割れ口はガラスのようにする
どくなっています。

形：角のあるゴツゴツした形をしています。

でき方：放散虫など二酸化ケイ素のカルをもつ生物の遺骸が集まってできた
岩石です。火打ち石ともいわれ、石灰岩も同じなかまです。

天竜川での分布：南アルプスから佐久間、二俣に分布します。